

葛城市の状況

公共交通

- 公共交通の利用者は減少傾向
- 鉄道駅の無人化、路線バスの減便などサービスレベルが低下

人口まち

- 少子高齢化の進行(将来的には約3割が高齢者)⇒社会保障費増・税収減
- 大都市圏のベットタウン化
- 勾配があり、日常生活で徒歩による外出が負担

上位計画等

公共交通

H27) 葛城市生活交通ネットワーク実施計画

- コミュニティバスを活用した公共交通の再編計画
- 環状線ルート、ミニバスルートの設定

H29) 地域内フィーダー系統確保維持計画

- 公共バスの年間利用者数:6万人を目標(H38)
- 環状線ルートの日利用者数:67人を目標

総合計画

H29) 葛城市第二次総合計画

- 地域の拠点や商業施設、病院、駅等をつなぐ公共バスを運行するとともに、利便性を向上させ利用者を増加させる

H29) 葛城市立地適正化計画

地域公共交通の位置づけや留意事項を踏まえた、利便性及び効率性を追求した環状線及びミニバスの運行計画の見直しを検討する

実施にあたっての課題

環状線ルート

大和高田駅への乗り入れ

大和高田市立病院の敷地内への乗り入れ

尺土南口と尺土駅の関係(重複区間の解消)

忍海～北花内ルートの短絡化

ミニバスルートとの重複区間の解消

ハブ駅機能の整備箇所(駅)の設定

ミニバスルート

環状線ルートの見直しを受けて、ルート・ダイヤの再設定